

**ご意見・ご質問コーナーに寄せられたご意見ご質問
(期間：平成23年7月16日～平成23年7月31日)
及びご質問に対する回答**

○これまでに寄せられたご質問に対する回答 2～5ページ

○平成23年7月16日から7月31日までに寄せられたご意見ご質問
6～8ページ

地震後の管理態勢

○年 齢 : 56歳～60歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社役員

○都道府県名: 東京都

○ご質問の内容:

福島原発にかんして

1) 今回の地震後の冷却水量の調査・管理、継続的に実施しているのでしょうか？1基で事故が起こった後同じようなことが、また起こっています。継続的な管理がなされていたら、水量の減少がもっと僅かな段階で検知出来ていいように思いますが？

2) 海水の注入の判断

放射能汚染物質(廃用原発)を少なくするうえでも、また、故障時の状況を把握するたうえでも、真水の注入をすべきではないでしょうか？また、それができるように、地震直後から、僅かな異変も拾い、海水の淡水化プラントの運び込みとかも含めて検討すべきなのではないでしょうか。

3) 今後の原発のコストには、今回のような事態の費用も算入される予定ですか？その場合、1基あたり、どれぐらいの額(現在は一基あたり建設コスト、危険回避コスト、保険料、廃棄処理費用、廃棄物管理費用)あたりいくらになり、また、耐用年数はどれぐらい長く・短くなりますか？

=

地震・津波の発生後から原発が気になりました。なんとしても、放射能の機外拡散は避けてください。対策が有効に働くことを祈ります。事実は早く、隠さず知らせてください。

○回 答:

1) 関連

福島第一原子力発電所における地震後のプラントパラメータ等については、東京電力が測定し、事故対策に利用するとともに、随時公開しています。

<http://www.tepco.co.jp/nu/fukushima-np/index-j.html#anchor02>

2) 関連

福島第一原子力発電所の原子炉へ、順次淡水の注入を開始しています。

(1号機)平成23年3月25日午後3時37分～

http://www.tepco.co.jp/nu/f1-np/press_f1/2010/htmldata/bi1388-j.pdf

(2号機)平成23年3月26日午前10時10分～

http://www.tepco.co.jp/nu/f1-np/press_f1/2010/htmldata/bi1391-j.pdf

(3号機)平成23年3月25日午後6時2分～

http://www.tepco.co.jp/nu/f1-np/press_f1/2010/htmldata/bi1389-j.pdf

なお、状況については、原子力災害対策本部 政府・東京電力統合対策室が平成23年7月19日に発表した「福島第一原子力発電所・事故の収束に向けた道筋進捗状況」のとおりです。

<http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/pdf/110719b.pdf>

3) 関連

発電コストについては、今般の事故の検証を踏まえ、原子力政策を含む今後のエネルギー政策のあり方を検討する中で議論してまいります。

原子力白書等についてお尋ね

○年 齢 : 71歳～75歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 無職

○都道府県名: 千葉県

○ご質問の内容:

2点お尋ねいたします。

(1) 毎年春に発行されている白書が今年は未だ未発行のようですが、いつごろ刊行されますか？

(2) 原子力廃棄物の種類別の最新のデータを知りたいのですが、どこにその資料はあるのでしょうか。ご教示ください。

以上よろしく お願いいたします。

○回 答:

(1) 原子力白書については、例年3月末頃に公表しておりますが、第11回原子力委員会定例会議(平成23年4月12日)において、福島第一原子力発電所事故を踏まえていないものを発行すべきではないと判断し、平成22年版については発行を中止することとしました。

(2) 放射性廃棄物の量については、平成21年版原子力白書に掲載されています。

<http://www.aec.go.jp/jicst/NC/about/hakusho/hakusho2009/2.pdf>

過去の報告書

○年 齢 : 31歳～35歳

○性 別 : 女性

○職 業 : 学生

○都道府県名: 秋田県

○ご質問の内容:

核廃棄物に関する過去の報告書はどこで読めるでしょうか。

以下の報告書を探しています。

- ・1984年 『原子力委員会中間報告』
- ・1992年 『高レベル放射性廃棄物地層処分研究開発の技術報告書
(第1次取りまとめ)』
- ・1997年 『高レベル放射性廃棄物地層処分研究開発等の今後の
進め方』

どうぞよろしくお願ひ致します。

○回 答:

ご質問のありました報告書は、ご質問の主旨から下記の報告書と思われる。以下の URL から御覧いただけます。

- ・原子力委員会放射性廃棄物対策専門部会中間報告書「放射性廃棄物
処理処分方策について」(1984年)

<http://www.aec.go.jp/jicst/NC/about/ugoki/geppou/V29/N08/198411V29N08.html>

- ・動力炉核燃料開発事業団「高レベル放射性廃棄物地層処分研究開発
の技術報告書」(1992年)

<http://jolissrch-inter.tokai-sc.jaea.go.jp/pdfdata/PNC-TN1410-92-081.pdf>

- ・原子力委員会原子力バックエンド対策専門部会「高レベル放射性廃棄物
の地層処分研究開発等の今後の進め方について」(1997年)

<http://www.aec.go.jp/jicst/NC/iinkai/teirei/siryoy97/siryoy26/siryoy32.htm>

放射線汚染の糞による肉牛の内部被曝の糞の堆肥による田畑の放射線汚染は大丈夫ですか？

○年 齢 : 51歳～55歳

○性 別 : 男性

○職 業 : その他

○都道府県名 : 愛知県

○ご質問の内容:

放射線汚染の糞による肉牛の内部被曝の糞の堆肥による田畑の放射線汚染は大丈夫ですか？

内部被曝した牛の糞も放射線汚染されているが、化学肥料を使わないエコ農業で、その糞を堆肥に田畑に使うと米も糞も放射線汚染され、その糞を牛が食べれば肉に放射線が溜まり、米・青果を人が食べれば人が内部被曝しますが、放射線汚染された肉牛や乳牛の糞の放射性物質処理は出来ていますか？

メールでお応え下さい。

原子力損害賠償法の指針で土壌の除染と除染費用を

○年 齢 : 51歳～55歳

○性 別 : 男性

○職 業 : その他

○都道府県名: 愛知県

○ご意見の内容:

原子力損害賠償法の指針で土壌の除染と除染費用を

放射線汚染された土壌を現在は応急処置として、表面土壌を削り取り地下1メートルに埋めているが、雨や雪で放射線が染み出て、住民の健康を害します。

今、金沢大学の(削除)教授は、(削除)除染薬品を開発しています。

(削除)実用化されたら、住民の健康を守る為に、土壌の除染と除染費用を原子力損害賠償法で負担して下さい。

放射線の影響を受けやすい子供が利用する保育園、学校等は、優先的に除染して下さい。

放射線除染すると放射性物質が出てきますが、国策で原発推進した責任を負って、処分場は永久に管理責任が持てる国で行って下さい。

(2011年7月15日19時30分NHK総合放送ナビゲーション参照)

※〈個人情報保護その他について〉の考え方にに基づき

一部を伏せさせていただきました。

柏崎刈羽原発の再稼働に強く反対します。

○年 齢 : 46歳～50歳

○性 別 : 男性

○職 業 : 会社員

○都道府県名 : 兵庫県

○ご意見の内容:

柏崎刈羽原発の周辺には、大きな地震を引き起こす活断層が存在していますが調査が十分に行われないうちに原発は建設されました。周辺の活断層が今後、さらに大きなマグニチュード8に達する地震を引き起こす可能性も示唆されています。柏崎刈羽原発の再稼働に強く反対します。